

時間配分は？ 山場は？ 思考の深まりは？  
ねらい達成は？ 定着は？

子どもたちが考え、学び合い、  
力の定着する授業に！！

本時のねらい  
達成の姿を  
イメージして…

導入部分は  
スピーディーに…

誤答や途中の考え  
を生かして…

ペアやグループ活動の目的  
を子どもと共有して…

ゆさぶりや  
考えを深める  
しかけを！

山場に  
時間を！

これで本当に、  
子どもに力が付  
いたと言えるの  
かな。

聞くだけ、写すだけで終わる  
子どもがいらないかな。

学びの質と量を確保する  
ことが大切です。

つかむ

考える

深

め

合

う

ま

と

め

る

△教師の説明が長く、ついつい導入が長くなる。



この前は、〇〇を勉強したね。今日はこの問題だよ。  
何が書いてあるかな？  
数字は？おたずねの文は？  
答えはまだ言っちゃダメだよ。

課題は、〇〇だね。

△子どもと共有せず、教師が自ら課題を設定してしまう。

△子どもに見通しをもたせずに、教師が解き方などの方向性を示してしまう。

△子どもが自分の考えをもつ時間がない。

△自分の考えをもたせないまま、すぐにペアやグループ活動、集団解決へ入ってしまう。

こうすればいいんじゃない？  
すぐにグループ（ペア）になって！

△グループ活動の目的がはっきりしない。

△集団解決を一問一答形式で進めてしまう。



〇〇は、何のこと  
ですか？

〇〇の  
ことです。



どこに書いてありますか？

〇ページに  
書いてあります。



話し合いの目的は？

- ・考えを1つに  
まとめるため？
- ・比較して聞き、自分の  
考えを深めるため？
- ・根拠を明確にするため？  
etc…

△発表の羅列で終わってしまう。



僕の方法は、〇〇です。  
わかりましたか。

私の方法は、〇〇です。  
これでいいですか。



△「わかりました」「いいです」で安心してしまう。



わかりました。いいです。

△多様な考えに終始してしまう。



もう、時間がないな。

他にもないかな。

△教師がまとめてしまう。



今日のまとめは、〇〇ね。

時間がないから、あとは  
家でできてね。

△適用題の時間が確保されてない。



◎問題提示の仕方を工夫する。

◎考えたい課題を設定する。

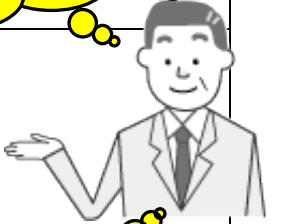
◎子どもと課題を共有する。

◎子どもに見通しをもたせる。

◎根拠を明確にして自分の考えをもつ場を設定する。



〇〇だから、〇〇かなあ。



◎根拠を明確にして自分の考えを表現する場を設定する。



〇〇だから、〇〇です。

〇〇だから、〇〇になると思う。



◎話し合う内容を焦点化して論点を明確にする。



間違えたところ、意見が分かれているところを  
話し合ってみようよ。

本当にそう言えるかな。  
説明してみよう。

〇〇について、どうしてそうなるのか  
みんなで話し合おう。

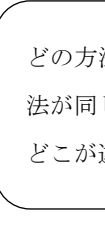
◎考えを聞きたい、話したい気持ちを引き出す。



どう考えているのかな。聞きたいな。

わかったぞ。みんなに話したいな。

◎多様な考えは関連付けて整理する。



どの方法とどの方法  
が同じかな。  
どこが違うかな。



「速い、簡単、正確」  
な方法はどれでしょう。

◎引き出した子どものことばを活用してまとめる。



今日、勉強して分かったことは、  
〇〇とまとめられると思います。

◎適用題の時間を設定する。



わかった！できた！

やってみよう。



◎自己の考えの変容に気付かせる。



最初は〇〇だと思っていたけど、  
今は〇〇だと思うよ。

やっぱり〇〇だった。

◎本時のねらいを達成する。

